

P050

当院における非侵襲的なアンチエイジング治療の実際

○黄 聖琥¹、佐武 利彦¹、岡村 博貴²、一原 亮²、水野 惇子²、鈴木 容子²、大木 健作²

¹横浜市立大学附属市民総合医療センター 再建外科、²横浜銀座クリニック

【目的】近年できるだけ切らずに治す非侵襲的なアンチエイジング治療は外科的な治療に比べ、効果やその持続期間に関して劣るところはあるものの、ダウンタイムや治療時の負担が軽く、実際の医療現場では広く行われている。当院で行った非侵襲的なアンチエイジング治療の実際を症例を提示し述べる。【方法・結果】当院（横浜銀座クリニック）ではキュテラ社のライムライト（IPL）、ジェネシス（ロングパルスYAGレーザー）、タイタン（近赤外線ライト）などの機器による治療を中心に、各種フィラー療法（ボトックス、ヒアルロン酸、多血小板療法）などをおり混ぜ治療を行っている。2010年4月より2011年3月までにおいて、当院で行った非侵襲的なアンチエイジング治療の内訳を示す。また、各施術は様々な治療期間で単独或いは複合的に施行されており、それぞれ代表的な症例を示し論じていく。